



「銀座4丁目交差点」(昭和22年12月)

GHQカメラマンが見た 戦後の日本

—復興にむけて働く人びと—

平成25年 **11/1**[金] ▶ **12/23**[月・祝]

会場：昭和館2階ひろば

開館時間：10:00～17:30(入館は17:00まで)

休館日：毎週月曜日(祝休日の場合は翌日)

入場
無料

 昭和館



「子どもたちとボン菓子売り」(昭和22~27年頃)



「街角の仕事」(昭和26年)

終戦2年後の昭和22年5月に、ディミトリー・ボリアという一人のGHQカメラマンが来日した。彼は、日本が占領下で混乱しつつも戦後復興に踏み出した時期から、GHQが解散し、さらに高度経済成長が始まるまでをレンズに収め、昭和36年(1961)にアメリカに帰国した。

ボリアが撮影した写真はカラー写真を含めて約30,000点といわれ(米国マッカーサー記念館所蔵)、昭和館では日本関係の写真約2,000点(複製)を保存している。皇族の写真をはじめ、東京裁判、東京や地方の様子など、幅広い内容の作品を見ることができる。中には、そこに働く一人一人の様子にも関心をよせて撮影した写真が数多くある。戦後復興期に、街頭や農漁村などで働く人びとの様子を撮影した写真で、今ではあまり見ることができなくなった光景も映し出されており、今回はそうした写真を中心に紹介する。



「富士山を撮影するボリア」(昭和22~36年)



「宝くじ売場」(昭和27年10月)

GHQカメラマンが見た 戦後の日本

—復興にむけて働く人びと—



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575
ホームページ <http://www.showakan.go.jp>

- 交通のご案内 **電車ご利用の場合** 地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4番出口) JR飯田橋駅から徒歩約10分
- 車をご利用の場合** 首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点) 普通乗用車専用駐車場がご利用いただけます。
- 有料駐車場 (30分200円)